

ごあいさつ
地域医療の『共創』
～赤十字と地域が目指す医療のかたち～



第53回日本赤十字社医学会総会
会長 金田 巖
(石巻赤十字病院 院長)

第53回日本赤十字社医学会総会は、東北ブロックの石巻赤十字病院が担当させていただきます。会期は平成29年10月23日（月）、24日（火）の2日間、会場は仙台市の仙台国際センターとしました。例年と違い月曜・火曜開催ということでご不便をお掛けするかも知れませんが、会場の仙台国際センターは医療人の集いを含む全ての学会プログラムを一つの会場で開催することができるため会場移動の煩わしさがなく、JR仙台駅から会場に隣接する国際センター駅まで地下鉄で5分、国際センター駅から会場までは徒歩1分という抜群のアクセス性を誇ることから、みなさまにストレスなくご参加いただけるものと確信しております。

メインテーマは「地域医療の『共創』～赤十字と地域が目指す医療のかたち～」といたしました。少子高齢化や人口減少に伴う社会構造の変化、国民医療費の増大などによりわが国の地域医療は大きな変革期を迎えています。今後増加する高齢者を地域全体で支えていくためには介護施設はもちろん、行政や地域住民との連携が必要となることは言うまでもありません。これからの地域医療は病院が患者に対し一方的に提供するものではなく、行政や地域住民の理解と協力を得ながら病院と地域が共に創っていくという「共創」のあり方を、シンポジウムと要望演題で皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。また、災害救護に関しては「生き残りをかけた赤十字の国内救護」東日本大震災・熊本地震から見てきた本社・支部・施設の役割と題したシンポジウムを企画しております。

特別講演Ⅰでは、自然写真家として地球全体をフィールドに撮影活動を展開する石巻市出身の高砂淳二様に「夜の虹との出会い」というタイトルでご講演をいただきます。

特別講演Ⅱでは、ディズニーランドの初代ナイトカストーディアルトレーナー兼エリアスーパーバイザーとしてキャストを育成、「ディズニーありがとうの神様が教えてくれたこと」等の著者として有名な(株)ヴィジョナリージャパン代表で宮城県栗原市出身の鎌田洋様に～ディズニーの神様からの贈り物～「ありがとうの数だけ幸せになれる」と題しご講演いただきます。

その他、国際救援や災害医療コーディネート、チーム医療、医療の質に関する本社企画や、呼吸器・購買・臨床倫理・ソーシャルワーカーなどの各種フォーラム、エコノミークラス症候群対応セミナー、病院薬剤師業務における質向上研究会、臨床工学技士シンポジウムなど多くの企画セッションを準備しております。

医療人の集いも場所を移動することなく開催いたします。宮城県は豊かな自然に囲まれ、海・山・大地の育む多彩で豊富な食材に恵まれています。みなさんもお存じの牛タンや笹かまをはじめフカヒレやサンマ、牡蠣、ホヤなどの三陸の海の幸、日本の代表的な米どころとして有名な「ササニシキ」や「ひとめぼれ」などの美味しいお米と日本酒、枝豆をつぶした餡でつくる「ずんだ餅」など、宮城の旬の食材で皆さまのご参加をお待ちしております。

前日の日曜日にも様々なイベントを企画しております。松島や秋保、鳴子などの観光地や温泉を巡るコンベンションツアー、東日本大震災最大の被災地である石巻を回り当時の状況を振り返る被災地視察プログラム、前日に仙台入りする参加者には東北のB級グルメが味わえる前夜祭をお楽しみいただきます。

全国から多くの赤十字職員がご参加いただけることを職員一同心よりお待ちしております。